

池上線長原駅駅舎「木になるリニューアル」が竣工 長原駅構内で「きになるフードロス」イベントを実施します



東急電鉄株式会社
東急株式会社

東急電鉄株式会社、東急株式会社(以下、両社)は、池上線沿線の温かさやぬくもりのあるデザイン・素材を採用した池上線長原駅改修プロジェクト「木になるリニューアル(以下、本事業)」を2021年12月下旬に竣工します。

本事業は、池上線戸越銀座駅、旗の台駅に続き、1967年の地下化・駅舎開業から50年以上経過した長原駅における「安全・安心」・「環境性能」をさらに高める改修工事に伴い実施するものです。

また、環境配慮の取り組みとして、駅舎および改札外新店舗(「いなほくらぶ 長原店」)に、東京都多摩地区で生産された多摩産材を使用することで、CO2約1tを固定化し、CO2排出量を抑制しています。なお、本事業の一部は「木の街並み創出事業」の採択を受け、この事業の補助により実施しています。

なお、2021年12月13日(月)～12月23日(木)まで、長原駅および池上線沿線の全4店舗(下図・別紙参照)から消費期限内の廃棄となってしまう商品を集荷し、長原駅構内でお客さま向けに販売するイベント「きになるフードロス」を実施します。この取り組みは、株式会社コークッキングと連携して、閉店後の各店舗から販売しきれなかった消費期限内の商品を集荷し、長原駅構内で販売するものです。食品を取り扱う店舗において天候による見込み客数の大きな変動などの理由からフードロスが発生してしまう課題への対策だけでなく、店舗の食品廃棄の手間削減にも貢献します。

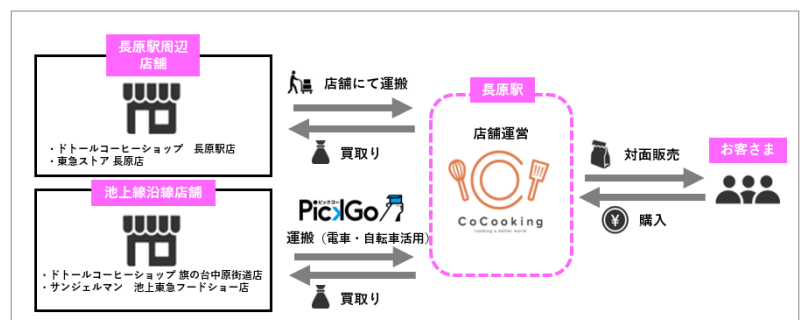
池上線沿線店舗からの商品運搬においては、配送マッチングプラットフォーム「PickGo」の配送パートナーが電車や自転車を利用することで、運搬時のCO2排出量を削減に取り組みます。加えて、「きになるフードロス」の販売所においては、木造旧駅舎の廃材を活用した机を利用するほか、販売スタッフのエプロンは鉄道の技術服をリメイクしたものを使用します。

両社は、今後も地域とつながる駅空間の創出に取り組むとともに、誰もが参加しやすい資源循環型まちづくりの実現を目指していくことで、東急線沿線のサステナブルなまちづくりを推進していきます。

詳細は、別紙の通りです。



▲長原駅イメージ



▲「きになるフードロス」イメージ図

以 上

【別紙】

■池上線長原駅改修プロジェクト「木になるリニューアル」概要

- 建物名称：池上線長原駅・東急長原駅ビル
- 事業主体：東急電鉄株式会社・東急株式会社
- 所在地：東京都大田区上池台1-10-10
- 工事内容：駅舎天井・外壁・東急ストア入口改修工事・改札外店舗新設工事 など
※改札外コンコースは「多摩産材木材」を活用
- 設計者：東急電鉄一級建築士事務所・株式会社交建設計
- デザイナー/キテクト：トラフ建築設計事務所
- 着工：2020年3月
- 竣工：2021年12月下旬

1. リニューアルコンセプト「ちょっとときになる 暮らしのまんなか」

駅は生活時間のまんなかにある場所なので、駅とまちが柔らかくつながる心地よい場所になるために、軒下にちょっと木を使い、路地に並ぶ建物と駅舎がまちと溶け込むように外壁は緑色にしました。いつも使っている駅で、ちょっと素敵な生活時間を過ごしていただきたいという思いを込めています。

2. 多摩産材 概要

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を「多摩産材」と呼びます。東京は、総面積の約4割を森林が占める自然に恵まれた世界でも有数の大都市であり、地場の多摩産材を活用することは、水源のかん養や災害の防止、CO2の吸収などの森林の多面的な機能を発揮するとともに、東京における持続的な森林整備と林業振興にもつながります。



▲「多摩産材」ロゴマーク ▲「多摩産材」イメージ

3. デザイナー/キテクト「トラフ建築設計事務所」

鈴野浩一氏と禿真哉氏により2004年に設立。建築の設計をはじめ、ショップのインテリアデザイン、展覧会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思想をベースに取り組んでいます。(http://www.torafu.com/)



▲鈴野 浩一氏



▲禿 真哉氏



▲TEMPLATE IN CLASKA
(hotel/2004.04)



▲NIKE 1 LOVE (shop/2007.01)

■改札外新店舗「いなほくらぶ 長原店」概要

- 店舗所在地：池上線長原駅 改札付近
- 取扱商品：おむすび、お惣菜など
- 営業時間：(平日)7:30~20:00 (土休日)10:00~19:00
※年末年始など一部期間において休業の場合有
- 開業時期：2021年12月下旬



▲商品イメージ

《店舗コンセプト》～美味しいお米でおむすびを提供したい～

おむすびはふっくらと炊き上げた美味しいお米を使用し、こだわりの製法で一つ一つ丁寧に店内で手作りをしています。また、毎月新商品をリリース！旬の素材、独自創作的な商品など新たな商品を毎月展開しています。他に類を見ない豊富な商品ラインナップが自慢です。どこから食べても美味しい具材が溢れ出す、美味しいおむすびを是非ご賞味ください。

■「きになるフードロス」概要

- 場 所： 池上線長原駅改札付近
- 実施時期： 2021年12月13日(月)～12月23日(木)
- 実施時間： 21:30頃～22:30頃(商品が無くなり次第、閉店)
- 運営主体： 株式会社コークッキング
- 運搬主体： CBcloud株式会社
- 参画企業： 全4店舗(ドトールコーヒーショップ 長原駅店・旗の台中原街道店、東急ストア 長原店、サンジェルマン 池上東急フードショー店)



1. 株式会社コークッキング

コークッキングは、パン屋を始めとする中食・飲食店舗で、閉店までに売り切るのが難しい食事を、アプリのユーザーとマッチングするフードシェアリングサービス「TABETE(タベテ)」を運営する会社です。まだおいしく安全に食べられるのに廃棄の危機に面している食事を「レスキュー」することで、食品ロスの削減に貢献します

(<https://tabete.me/>) ユーザー:約48万人/掲載店舗:約1,900店舗(2021年11月現在)

2. CBcloud株式会社

CBcloudは、物流業界の多重下請けやドライバーの労働環境の改善をはじめとした構造的課題を解決し、新たな社会インフラを構築していく会社です。“「送りたい」と「届けたい」を繋げる”マッチングプラットフォーム「PickGo」、”物流を現場からスマートに”変革する物流DXシステム「SmaRyu」の2つのサービス群を提供しています。

(<https://cb-cloud.com/>)

●PickGo

物流業界には、情報の取り次ぎのみを行う中間プレイヤーが数多く存在しており、コミュニケーションや費用面において非効率的な状況が発生しています。PickGoは荷主と「配送パートナー」、「実運送会社」を直接つなぐことで、この多重構造を打破することを目指す、唯一の配送マッチングプラットフォームです。CBcloudでは、個人向けサービスの「PickGo」で買い物サービスと受取りサービスを展開するほか、法人向けサービス「PickGo for Business」を提供しています。

「PickGo」サービスページ: <https://pickgo.town/>

3. 参画店舗

①ドトールコーヒーショップ 長原駅店、旗の台中原街道店

人々の生活に欠かすことのできない”エッセンシャル・ブランド”となることを目指し、お客さまに、「ドトール、のち、はれやか。」な気持ちになっていただける、おいしいコーヒーや丁寧なサービスをお届けしています。また、安全・安心な商品の提供はもちろん、フードバンクとの提携や一部商品の割引販売を実施するなど、フードロス低減に取り組んでいます。

②東急ストア 長原店

お客さまの日々の暮らしに役立つスーパーマーケットとして、ショッピングの便利さを提供するだけでなく、いつも安心して気持ちのよいお買い物と、お客さまの暮らしに美味しさと楽しさをお届けします。また、大田区食べきり応援団に登録し、生鮮食品やデリカ食品では、小分けした食べきりサイズ商品の充実などによりフードロス削減に取り組んでいます。

③サンジェルマン 池上東急フードショー店

「TENDRESSE—タンドレス—」これが私たちの合言葉。フランス語で「心くばり」を意味します。安心・安全で良質な素材選び熟練の職人による丁寧な商品づくり地域のニーズにこたえる店舗展開、その一つひとつに、まごころを込めて。たくさんのお客さまに、おいしさを届けます

4. 廃材の活用

「きになるフードロス」の販売所においては、木造旧駅舎の廃材を活用した机や、スタッフのエプロンは「PARK COFFEE」でも活用されている鉄道の技術服をリメイクしたものを使用するなど、環境負荷低減に取り組んでいます。(参考:<https://www.parkcoffee-oimachi.com/>)



▲リメイクしたエプロン



▲廃材を活用した机

【参考】

■木になるリニューアルについて

(1)戸越銀座駅リニューアル概要

○工事内容:ホーム屋根の建替え、延伸 / 駅舎内外装の改修 / トイレの建替え など

○竣工:2016年12月

○木材使用量:約120m³

○CO₂削減量:約170t(鉄骨造と比較し建設段階排出量約100t減、木材のCO₂貯蔵量が約70t)

○受賞実績:全9賞受賞

- ・ウッドデザイン賞2016 建築・空間・部材部門【入賞】
- ・第2回木材活用コンクール【農林水産大臣賞】【木質開拓賞】
- ・第6階木質建築空間デザインコンテスト【一般建築部門賞】
- ・2017年度木材利用優良施設コンクール【林野庁長官賞】
- ・第51回日本サインデザイン賞【優秀賞】【関東地区賞】
- ・2017年鉄道建築協会賞【特別賞】 など



(2) 旗の台駅リニューアル概要

○工事内容:ホーム屋根の建替え / ホーム待合室の改修 など

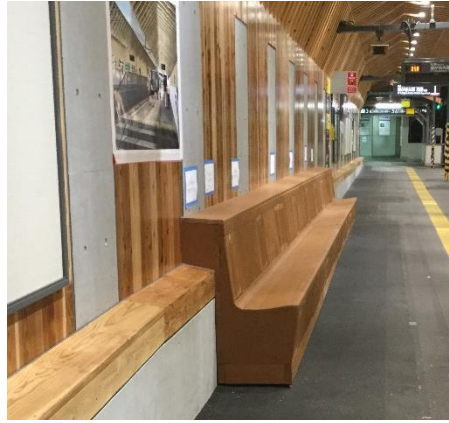
○竣工:2019年7月

○木材使用量:約210m³

○CO2削減量:約300t(鉄骨造と比較し材料製造時の排出量約180t減、木材のCO2貯蔵量約120t)

○受賞実績:全3賞受賞

- ・木の建築賞【選考委員特別賞】【メンバーズチョイス賞】
- ・ウッドデザイン賞2020 ソーシャルデザイン部門【入賞】
- ・2020年鉄道建築協会作品賞【入賞】



■池上駅改良・駅ビル開発 概要

○竣工:2021年3月

○みんなのえきもくプロジェクト

池上線旗の台駅・池上駅改良工事で発生した古材「えきもく」を駅および沿線で活用していくプロジェクトで、第4弾として池上駅ビルのさまざまな場所でえきもくを活用し、歴史ある木造駅の記憶を未来に継承することや、工事に伴う環境負荷低減(廃材処理時のCO2削減)に寄与しています。

○受賞実績

- ・2021年鉄道建築協会作品賞【特別賞】



■いい街 いい電車 プロジェクトとは...

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみなさまと近くて良い関係「近い関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

<取り組み事例>

with♡(ウィズ・ハート)

「with♡(ウィズ・ハート)」とは、「ココロでまちを、サステナブルに。」というコンセプトのもと、一人ひとりが自分らしく暮らせるまちがずっと続くように、環境活動などを広めていくアクションです。

